



群馬県立大泉高等学校

植物バイオ研究部・微生物バイオ研究部

群馬県邑楽郡大泉町北小泉2-16-1

日本遺産「里沼」の保全活動 ～人と自然が共生する茂林寺沼を目指して～



【茂林寺沼の「ヨシ」と私たち】

群馬県館林市にある「茂林寺沼」は、分福茶釜の説話で有名な茂林寺の北側に広がる湿原である。生物多様性の宝庫で、人と自然が共生しながら歴史・文化が育まれてきた。令和元年には「日本遺産『里沼』」に認定された。私たちは、人と自然が共生する茂林寺沼を未来に繋げるため保全活動に取り組んでいる。

茂林寺沼の「ヨシ」の活用方法を検討し、ヨシで作ったストローやヨシを培地基材として栽培したキノコを開発した。これらの商品を活用した普及・啓発活動として、地元カフェでヨシストローを提供したり、エコツーリズムでヨシキクラゲを使用していたりした。また、若い世代の関心を高めるため、地元小中学校での環境教育を実施した。